

第2回埼玉県科学技術・イノベーション会議における意見

No.	意見・質問等	資料の該当箇所
1	各種取組について、国が取り組むべきものとしてこれに委ねるもの、国に県としての意見を伝え国の施策に反映していくもの、国と県が連携して取り組むべきもの、県独自で取り組むべきものを、峻別してメリハリを付けて取り組むスタンスがより見えると良いと思います。	
2	県の計画ですので、県独自のプロジェクト、県の機関を積極的に活用し、県の企業や県民の具体的なニーズを踏まえて施策を展開されようとする姿勢は良いと思います。	
3	県独自で達成できるもの、国の施策があって達成できるものがどれかわかる様にすると、県として何をすべきか、取組の優先順位が見えてくるように感じます。	
4	それぞれの業種が自助努力で行うべきものと補助金などによる行政支援が必要なものがどれかわかようになると、県として何をすべきか、取組の優先順位が見えてくるように感じます。	
5	未来を担う人材の育成が重要だと思います。 しかし、子供達を育てる親や先生方がそのミッションの重要性を理解しているか。 育てる方がしっかりしたビジョン教育を受けていなければ良い結果になる確率は低いのでは。	
6	リカレント教育は非常に重要なので、力を入れていただきたい。加えて、リカレントだけだと誤解を受けることもあるため、リスキリング(働きながら新しい知識技術を身に着ける。技術を上げる。)も入れてもよいのではないか。	
7	今後伸びしろのある成長性の高い分野に施策を重点的に展開する意思が明確に示されており強いメッセージになると感じました。	【資料1】 スライド8
8	(6)科学技術に対する県民の意識調査した結果、「健康・医療・介護・生命科学」「AI・データサイエンス・コンピュータシステム」「環境・資源・エネルギー」に関心が高い。そこから、矢印の先の結論へは、論理の飛躍があるように思います。	【資料1】スライド 9・右側
9	上位施策に呼応した KPI が示されており、目指すべき目標が具体的である点は評価できる。	【資料1】 スライド10

No.	意見・質問等	資料の該当箇所
10	<p>人材育成が最重要。学校教育など中長期的な取組と人材マッチングなどの短期的な取組を上手くミックスさせて推進していただきたい。</p> <p>またプログラミングの手法でノーコード開発やローコード開発など専門的な知見が不十分でも手掛けられる手法も一般的になりつつあり、それらを紹介して行くことも一考に値するかと思います。</p>	<p>【資料 1】 スライド 12</p>
11	<p>施策 1 の中にも本県の強みをより伸ばしていくという方向性を盛り込むべきだと思います。</p>	<p>【資料 2】 p.24 施策 1</p>
12	<p>(住み続けられるまちづくり、行政手続きの利便性向上、県民の視点になったウェブサービス運営、オープンデータ推進)を実効あるものとするためには、これらの取り組みにおいてマルチステークホルダー参画かつデザイン思考の視点を取り入れることが重要であり、とくに(自治体や企業に加えだけでなく)県民の参画を促すための施策とその目標指標が設定されると一層良いものとなると考える。</p>	<p>【資料 2】 p.24・37 行 p.27・25 行 p.27・26 行 p.27・31 行</p>